藤川天神の臥竜梅

【所　在　地】薩摩川内市東郷町藤川 1266
【種　　別】国指定天然記念物
【指定年月日】昭和 16 年 10 月３日

藤川天神とは薩摩川内市東郷町藤川にある菅原神社のことで，その境内に菅原道真の手植えになる１本の梅から繁殖したと伝えられる梅林がある。ここの梅は，老木になると枝が四方に倒れ臥し，地に接したところから再び根を出して地中から養分をとって新しい株となり, 自活できるようになると自然に親との連絡部は枯れて独立する特徴を備えている。まるで竜が地をはっているようなその姿から，臥 竜 梅とよばれるようになった。

ウメはバラ科サクラ属の落葉低木で，西暦 700 年以前に中国から伝来し，特有な香りを放つことから観賞用としても広く栽培されるようになった。盆栽，庭木などに盛んに用いられ，多くの園芸品種がある。この地のウメの花は淡い紅色の八重咲きで，２月上旬頃から咲き始め，２月 25 日の春祭の頃には満開となる。

藤川天神の臥竜梅は，宮崎県新富町の「湯の前の座輪梅」，同県高岡町の「高岡の月知梅」とともに，三州三梅のひとつに数えられている。